

(工学研究科)

## 公益財団法人ヒロセ財団

### 令和 8 (2026) 年度外国人留学生の募集

2026. 1. 19

#### 1. 応募資格・・・以下のすべてに該当すること。

- 1) インド以东のアジア諸国の国籍を有する私費外国人留学生  
(在留資格：留学、東南アジア地域の者及び中国籍は東北部・内陸部出身者優先)
- 2) 2026 年 4 月 1 日現在 30 歳以下で、学部または大学院正規課程に在籍し、  
課程の残期間が 1 年以上ある者
- 3) 日本語能力試験 N1 合格者
- 4) 年 4 回 (予定) 開催される奨学生交流会に出席できる者
- 5) 異文化理解 (特に日本文化理解) に意欲があり、日本人学生との交流、地域社会での  
国際交流等に積極的な者
- 6) 他の奨学金を受けていない者

Those who have JLPT N1 are eligible to apply.

#### 2. 支給金額・期間

学部生 月額 18 万円 / 大学院生 月額 20 万円

給付期間 2026 年 4 月～2027 年 3 月 (1 年間)

※ただし、特に成績優秀な者及び本財団の交流事業を理解する者については、  
毎年度末に審査の上、在籍する学部又は研究科の標準年限まで継続可

#### 3. 応募書類

- 1) 奨学金申請書 (所定様式、A4 用紙 1 枚、日本語自筆)  
※「大学の担当部課」欄は記入不要
- 2) 履歴書 (所定様式、A4 用紙 1 枚、日本語自筆)
- 3) 身上書 (所定様式、A4 用紙 1 枚、日本語自筆)  
※日本での連絡先は、留学生の知人はなるべく避けること。
- 4) 身上書の別添記入用紙 (所定様式、A4 用紙 1 枚、日本語自筆)
- 5) 在学証明書 (大学院入学予定者は、合格通知書の写し)
- 6) 在留カードの写し (両面)
- 7) 研究内容、論文リスト、学会発表歴等のレポート (A4 用紙 1 枚、博士課程のみ)
- 8) 成績証明書 (現課程及び前課程のもの。学部生は現課程のみ)  
※別紙の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入
- 9) 経済状況調書 (所定様式) 10) 民間奨学金申請時の心得 (所定様式)
- 11) 私費外国人留学生身上調書 (所定様式)
- 12) 家計状況申告書 (所定様式)
- 13) 推薦書 (任意様式、A4 用紙 1 枚、指導教員により作成、厳封すること)  
※13) は 工学部・工学研究科からの推薦が決まったら提出すること。

4. 推薦人数 工学部・工学研究科より 2 名 (1 ヶ国につき 1 名)

5. 提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係 (中央棟 3 階)

6. 締切日 2026 年 2 月 3 日 (火)

※2026 年度に他奨学金に受給決定の者ならびに申請中 (直接応募含む) の者は推薦対象外です。

令和 8 年度 (2026 年度)  
**公益財団法人ヒロセ財団 外国人留学生募集要項(新規)**  
(一般奨学金)

1. 応募資格

- (1) 日本以外の国籍を有し、インド以東のアジア諸国から来日している私費留学生
- (2) 大学の学部又は大学院に在学する者で、令和 8 年 4 月 1 日現在で 30 歳以下の者
- (3) 修学のために経済的援助を必要とする者で、他の奨学金を受けていない者
- (4) 学業、人物ともに優秀であり、健康である者
- (5) 日本語能力試験 N1 合格者
- (6) 国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者
- (7) 奨学生交流会（年 4 回を予定。うち 1 回は 2 泊 3 日の研修旅行）、芸術文化関係交流事業に出席できる者

注) なお、次の者は除外します。

- ・ 日本での留学中、更に他の国への留学（交換留学、短期又は中長期留学を問わず）を予定する者
- ・ 将来、日本学術振興会の特別研究員事業、次世代研究者挑戦的研究プログラム等の各種支援制度、並びに他の奨学金への応募を希望する者
- ・ なお、前記の事由等で奨学金を受給中に辞退する場合には、支給済みの奨学金について返還を求めることがあります。

2. 新規募集人員 10 名程度（財団の年間奨学生 約 70 名）

3. 対象学年

学部学生 : 令和 8 年 (2026 年) 4 月に正規生として在学する者

大学院学生 : 令和 8 年 (2026 年) 4 月に正規生として在学する者

4. 奨学金

学部学生 月額 18 万円

大学院生 月額 20 万円

ただし、学部学生、大学院学生ともに、所定の最小限の修業年限内の者（いわゆる留年なし）を原則とする。

5. 奨学金支給期間

令和 8 年 (2026 年) 4 月からの支給とし、特に成績優秀な者及び当財団の交流事業を理解する者については、毎年度末に審査の上、所属する学部又は研究科の標準年限まで継続可とする。

6. 応募方法

大学の推薦により、申請を受け付ける。

## 7. 応募の手続き

次の書類を揃え、指定する日までに、財団事務局に提出する。記載漏れ、乱雑な記入の書類は受け付けない。

- (1) 奨学金申請書（所定の様式）
  - (2) 履歴書（所定の様式）
  - (3) 身上書（所定の様式）
- } 自筆による（乱雑な記載は受け付けません）
- (4) 在学証明書：大学院各課程入学予定者は、合格通知書（入学許可書）の写し
  - (5) 在留カードの写し（住所、氏名、在留資格の確認のため）
  - (6) 成績証明書：現課程のもの。入手不可能の場合は、前の課程のもの又は入学試験の成績・順位等。
  - (7) 推薦理由書（学部長又は指導教員による封緘書）：A4用紙で1頁以内
  - (8) 博士課程に在籍する学生は、研究内容、論文リスト、学会発表歴等のレポート：A4用紙で1頁以内

## 8. 選考及び決定

推薦された者について、本財団に設置する選考委員会の選考を経て、理事長に報告し、理事会で奨学生を決定する。一大学において、「採用者なし」もあり得る。

なお、選考に当たっては、書類審査の他、面接を行うことがある。

採用決定者については、5月中に大学及び本人に通知する。

## 9. 奨学金の支給の停止又は打ち切り

奨学生が次の各号の一に該当するときは、奨学金の支給を停止又は打ち切ることがある。

- (1) 病気等により又は理由なく長期（1ヵ月以上）欠席したとき
- (2) 休学又は外国へ留学（短期、交換留学を含む）したとき
- (3) 在学する大学における学籍を失ったとき
- (4) 学則により処分を受けたとき
- (5) 学業成績又は素行が甚だ不良のとき
- (6) 事前の連絡なく奨学生交流会等諸行事を欠席したとき
- (7) 事前の相談なく年間10日間以上帰国又は日本を離れたとき
- (8) 応募書類及び報告書類の記載事項に重大な虚偽が発見されたとき
- (9) その他留学生としての資格を失ったとき
- (10) 本財団若しくは本財団の支援企業の名誉を傷つけ又は迷惑をかけたとき

## 10. 報告書の提出

奨学生は、理事長から要求があったときは、学習の状況（学業成績を含む。）及び生活状況について報告書を提出しなければならない。

## 11. 注意事項

この要項に記載してあることについて不明の点があれば、大学の事務局に照会すること。

# 申請書類記入上の注意

## 全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で、丁寧に記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は黒の万年筆またはボールペンで書くこと。

## 申請書について

- (1) e-メールアドレスは、日常的に利用するアドレスを記載すること。
- (2) 「在学大学名等」は、大学名を記入し、学部の場合は学部名・学科名を記入すること。  
大学院の場合は、研究科名・専攻名を記入し、該当する課程にチェック印をつけること。
- (3) 学年は、令和8年（2026年）4月1日現在によって記入すること。

## 「履歴書」について

- (1) 学歴については、卒業した学校名を記入すること。（複数の場合はすべて記入）
- (2) 職歴については、本国および日本における職歴を記入のこと。アルバイトは除く。

## 「身上書」について

- (1) 家族氏名欄には、父母のほか、配偶者・子供・兄弟姉妹についても記入すること。
- (2) 職業・勤務先欄は、会社名等を具体的に、役職等も記入すること。  
父母死亡の場合は「死亡」と記入し、生前の職業・勤務先を記入すること。  
在学中の者は学校名を記入すること。
- (3) 経済状況は、現在の収入源及び住居費、授業料が分かるように記入すること。
- (4) 配偶者が留学生で日本政府奨学金、その他の奨学金を受けているときは、「経済状況」の「(5) 配偶者、その他からの収入」欄に記入すること。
- (5) 「日本留学の目的」欄、および「将来希望する進路（又は、卒業後の予定）」は、別紙用紙に記入すること（各200字以内）。

公益財団法人ヒロセ財団  
令和8年度（2026年度）奨学金申請書  
（一般奨学金）

公益財団法人ヒロセ財団  
理事長 石井 和徳 殿

貴財団の一般奨学金の支給を受けたく申請いたします。  
申請年月日 令和8年（西暦2026年） 月 日

申請者署名 \_\_\_\_\_

写真（カラー）

（5×4cm）

上半身の写真  
3ヶ月以内に撮影のもの  
裏面に氏名を書いて  
のりではりつけること

氏 名	_____, _____, _____ (アルファベットで記入) Family Name Given(First)Name (Middle Initial)									
氏 名	(姓) (名) (フリガナ) (漢字名又はカタカナ)									
国 籍					在留資格				<input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 既婚	
生 年 月 日	年 月 日生		年 齢	歳 (2026年4月1日現在)		性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女			
現 住 所	(〒 - )									
	電話番号： .									
	e-メールアドレス：									
在 学 大 学 名 等	学 部	大学 学部 学科 年次 ( 年 月 入学) (2026年4月1日現在)								
	大 学 院	大学大学院 <input type="checkbox"/> 修士（博士前期）課程 <input type="checkbox"/> 博士（博士後期）課程 研究科 専攻 年次 ( 年 月 入学) (2026年4月1日現在)								
	大学の担当 部課等	担当部課					電話番号（直通）			
		担当者名					( )			
	指導教員等	所 属					職 名			
(フリガナ) 氏 名						電話番号（直通） ( )				

# 履 歴 書

(2026年 月 日 現在)

(フリガナ)

氏 名

来日年月日 年 月 日

学 歴 等 (高等学校入学以降、現在に至るまで、年代順に記入のこと)

入学・卒業年月	学 校 名		専攻学科	正規年数
年 月～ 年 月				
年 月～ 年 月				
年 月～ 年 月				
年 月～ 年 月				
年 月～ 年 月				
日本語学習歴	学校名		所在地	学習期間
				年 月～ 年 月
				年 月～ 年 月
日本語能力試験	受験年月	テスト名	受験地	受験級
	年 月			
	年 月			
	年 月			
兵 役	過 去	年 月 日～	年 月 日	
	将来の予定	年 月 日～	年 月 日	<input type="checkbox"/> 不明
賞 罰 (学校等での表彰を含む。)				

職 歴 (アルバイト除く)

勤務先名(所在地)	職務内容(役職名)	勤 務 期 間
( )		年 月～ 年 月
( )		年 月～ 年 月

# 身 上 書

(2026年 月 日現在)

(フリガナ)

氏 名

あなたの本国の住所

電話番号

## 家 族 状 況

家 族 氏 名	続柄	年 齢	現 住 所	職業・勤務先又は学校名
	父			
	母			

## 経 済 状 況

収入源（2025年度）	平均収入月額	摘 要	
(1) 本国等からの仕送り	円	仕送り者名：	
(2) アルバイト	円	職務内容：	
(3) 奨学金	円	詳細は、下の受給歴に記載のこと。	
(4) 貯金の取崩し	円		
(5) 配偶者、その他からの収入	円	内容：	
(1)～（5）の合計	円		
奨学金受給歴	奨学金月額	受給期間	奨学金の名称
	円	年 月～ 年 月	
	円	年 月～ 年 月	
	円	年 月～ 年 月	
現在受給中又は応募中のもの	円	年 月～ 年 月	
住居費月額(食費は含めず)	円	同居者の有無：□有 □無	
住居区分	□国際交流会館 □大学寮 □マンション等 □その他（ ）		
授業料年額（2025年度実績）	円	□全額免除 □半額免除 □一部免除 □免除なし	

自分の国へ一時帰国するなど、長期不在時の日本での連絡先

(フリガナ)			
氏名	申請者との関係 ( )		
現住所	(〒 )	電話( )	—

日本留学の目的	(別添の用紙に記入すること)
将来希望する進路 (又は卒業後の予定)	(別添の用紙に記入すること)

※住居費は、同居人が居る場合は自分が負担した金額を記載のこと

※授業料は、実際に負担した金額を記載のこと

## 「身上書」の別添記入用紙

(氏 名) \_\_\_\_\_

○日本留学の目的      ーできるだけ具体的に書いてくださいー


○将来、希望する進路（または、卒業後の予定）      ーできるだけ具体的に書いてくださいー




※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

## －奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2024.07.01

### 1. 申請の前に

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

### 2. 申請前チェックリスト

#### 手書き・電子共通

- ☐ 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- ☐ 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- ☐ 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- ☐ 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- ☐ 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- ☐ 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- ☐ 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- ☐ 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

#### 手書きの場合

- ☐ 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- ☐ 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- ☐ 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

学籍番号:

氏 名:

---

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

\*2025年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号		
学科名 専攻名		指導 教員		研究室 TEL	
氏名	(漢字 )			既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍		
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了			
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間			
		年 月 ~ 現在			
		年 月 ~ 年 月			
		年 月 ~ 年 月			
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート(住所 )				

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

\*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

\*2025年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在 籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏 名				

家計状況

\* 2024年10月から2025年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。  
\* 2024年10月入学の場合は2024年10月から2025年3月までについて記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他( )	円	その他( )	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

\* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り ・ 無し (○で囲む)  
\* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円		
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円		

\*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2023年 ○○奨学金)


授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

\* 該当箇所を○で囲む

2025	後期	申請中	申請なし			
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった

## 別紙

### 成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

	成 績 評 価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）